

あいご会報

2026年4月発行
No.348



フェイスブック



ホームページ

新年度のご挨拶

障がい者支援施設 しりべし学園成人寮

施設長 遊部眞澄

日に日に春の訪れを感じられるような陽気となり、桜の季節も近づいてまいりましたが、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当法人、事業所へのご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、日頃より本年度の両拠点共通テーマは、職員が主体となって考えた「同心協力」ともに歩こう笑顔の道を」と致しました。毎年のテーマは、しりべし学園、しりべし学園成人寮の職員がグループワークの中からチームごとにアイデアを出し合って決めており、このテーマには、「職員一人一人がお互いを支えあい、心を一にして笑顔で利用者さんの支援を進め、たくさんの方の笑顔を引き出そう」という熱い思いが詰まっています。今年度の事業計画重点目標の一つに、「日中活動の活性化」を掲げております。新たな企画として音楽を取り入れた活動を開催し、心身ともに健やかな日常を送れるよう支援してまいります。

権利擁護についても、月毎の支援における重点目標を毎朝唱和することを継続し、引き続き職員の意識向上を図ってまいります。地域の皆様から「ふれあい祭りはまだ一般開放しないのか」と多数お問い合わせをいただいているところですが、今年度は、しりべし学園が六十周年を迎える記念の事業として位置づけ、一般の皆様にもお越しいただけるよう考えております。一方で、直近のコロナ感染状況によってはご期待に届かない場合もございますことをご了解いただければ幸いです。また、昨年、久しぶりの開催となりました「登別マリンパーク」へのご家族との外出事業では、利用者さんとご家族様のたくさん笑顔に接することができました。今年度も趣向を変えた事業を行って参りたいと考えております。引き続き、事業所といたしまして、基本的な感染対策をしっかり行い、ご家族様との連絡を密にし、安心・安全な施設生活の継続に取り組んでまいります。結びに、今年度も変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げます。年度初めのご挨拶とさせていただきます。

福祉型障がい児入所施設 しりべし学園


施設長 富樫孝貴

新年度に入り桜前線の便りが聞こえ始めてきました。ご家族の皆様ならびに関係機関の皆様におかれましては、平素より当施設運営に對しまして、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今年、しりべし学園は創立六十周年の節目の年となります。これまで先人の多くの役員の方々の私には想像もつかないほどのご尽力により、しりべし学園の礎を築き上げてきたことに敬意を表しますとともに、施設運営に對しましてご理解、ご協力をいただいていた関係各位に對し、あらためて感謝申し上げます。さて、利用者の皆さんも笑顔で、そして新しい職員も加わり新年度をスタートすることができました。障がい児・者福祉を取り巻く環境は厳しさを増し課題も山積ですが、利用者の方々が様々なことに挑戦する勇気を持ち活動できるよう、また、職員も挑戦させてあげる勇気を持ち、「できない」ではなく、「どう工夫したら、何ができるのか」に目を向け、今年は今一度原点にかえり、「元氣、勇氣、根氣、そして、笑顔と挨拶」を職員も、利用者も心掛け、それぞれの自立に向け一丸となり頑張りたいと思います。また、三月には六名が当施設を退所し、それぞれが期待と不安の入り混じるなか、新たな生活をスタートさせました。六名の皆さんが新天地でより一層成長されることを期待します。結びになりますが、今後とも皆様の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。新年度のご挨拶とさせていただきます。

異動・新入職員紹介

1名が異動、また、2名の新入社員が配属されました。どうぞよろしくお願いいたします。

異動 しりべし学園 河澄 明代 (かわすみ あきよ)




はじめまして。障害者支援施設で介護の仕事をしていました。児童福祉の分野は初めてです。児童の皆さんの生活の支えになれるよう、保護者、職員の皆様からご指導頂きながら日々を積み重ねていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

退職 今までお世話になりました


しりべし学園 … 工藤 歩未

しりべし学園 日野 有子(ひの ゆうこ)



名古屋出身。学生時代から富山。この度、心機一転、北海道に移住。これまで小・中学校でスクールサポーター。皆さんと毎日笑顔をお互いに心がけていきたいです。よろしくお願いいたします。

成人寮 スミヤットウエー



はじめましてミャンマー出身です。人の役に立つ仕事がしたくて、この施設で働くことを選びました。利用者さん一人ひとりを大切に、安心して過ごせるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

YOUTUBEの取材を受けました

2月にyou tubeの「梢のなるほど隊」の取材を受けました。今回、案内人の杉本梢(すぎもと こずえ)様は視覚障がいを持ちながら特別支援学校教員を経て、心のバリアフリー推進活動を行う社会活動家です。今回は入所施設、児童ディサービス、就労支援施設をそれぞれ取材していただきました。それぞれの担当職員が事業内容の説明や利用者さんがどのような生活をされているか、配属されている特定技能実習生の説明、今後の事業所の展望なども紹介されております。取材では杉本こずえ様の質問に対しても一つ一つ丁寧に答えし、和やかな雰囲気で行われました。筆者も視聴しましたが、当施設の事業内容がまとめられており、改めて当施設の強みや良さを知ることができました。ぜひ、皆様にもご覧いただき当施設のことを知っていただくと幸いです。

- 取材施設
社会福祉法人 黒松内つくし園
- 福祉型障がい児入所施設 しりべし学園
 - 放課後児童ディ・サービス 南後志ディ・サービスセンター
 - 障がい者支援施設 しりべし学園成人寮
 - 就労支援B型事業所 しりべしワークセンターセオス



梢のなるほど隊

卒業式



職員募集

← 詳しい採用情報は、こちらからどうぞ

ご応募お待ちしております!!

私達と一緒に働きませんか? 楽しいお仕事です。

当事業所では、職員を募集しております。ご興味のある方は、裏面の連絡先まで、ご連絡ください。

フォトコーナー ゆきまつり

2月21日に雪まつりが開催されました。滑り台と雪像を作成し、利用者さんに冬を満喫していただきました。滑り台を滑った後は体育館で温かい飲み物を飲みカツカレーを食べました。皆様、満足された様子でした。



2026年度 予算・事業計画

福祉型障がい児入所施設 しりべし学園

科目	予算額	科目	予算額
児童福祉事業収入	133,363	人件費	91,142
障害福祉サービス等事業収入	56,157	事業費	41,878
その他の事業収入		事務費	21,882
借入金利息補助金収入		支払利息支出	
経常経費寄付金収入	64	その他の支出	110
受取利息配当金収入	1,080	設備資金借入金元金	270
その他の収入	636	固定資産取得支出	600
積立資産取崩収入	542	ファイナンス債務の返済支出	1,116
		積立資産支出	2,000
		拠点区分間繰入金支出	15,000
収入合計(1)	191,843	支出合計(2)	173,998

近年は行動障害や虐待等による愛着形成の課題など、ケアニーズの高い子どもの利用が多くなっているなかで、その行動や言葉の奥にある思いや状況に丁寧に寄り添い、一人ひとりの特性に合わせた適切な支援を提供するよう努めます。また、職員自身も自分を大切に、心身ともに安定した状態で利用者向き合い、利用者の意向を確認しながら、ともに活動し余暇の充実に努めます。さらに、利用者の円滑な移行支援に向けて、利用者、家族の意向を確認し、学校、児童相談所などと情報を共有しながら、早い段階から退所後を見据えた取り組みを進めていきます。人材確保については法人人事部とも連携し、実習生やインターンシップなどを積極的に受け入れるとともに、良いチームワークの中で職員の定着、育成に努めます。

- ① 権利擁護の取り組みを継続するとともに、利用者の意見を表明する機会を設け余暇活動の充実に努めます。
- ② 利用者の発達段階や特性を正確に理解し、支援の質の確保、向上を図るため、職員の専門性の向上に努めます。
- ③ 関係機関と連携し利用者の移行調整の強化を図るとともに、移行後のアフターケアも行っていきます。
- ④ 働きやすい職場環境に努め、職員の定着、育成を図ります。

児童デイ・サービス事業 南後志児童デイ・サービスセンター

それぞれの子どものための課題や特性、ニーズの把握を丁寧にを行い、必要な支援について検討し、療育活動の充実に努めます。また、保護者、関係機関との連携、情報共有を密に行うことにより、子どもの実態の把握、支援の方向性の検討等を行い、より充実した支援に繋がります。さらに、各種研修会や他施設視察等により療育の質の向上を図りながら、これまでの業務の在り方を見直し、良い部分を残しながら業務の効率化を図り、療育以外の基本的な業務にも滞りが生じることのないよう努めるとともに他部門との連携を強化します。

- ① 保護者や関係機関との連携により、子どもの課題やニーズを把握し、療育活動の充実に努め、子どもの健全な育成に取り組めます。
- ② 子どもの状態について保護者と共通認識を図り、ともに成長を喜び合える関係の構築に努めます。
- ③ 療育の質の向上を目指す一方で、日頃の業務の効率化を図ります。
- ④ 他部門の状況を理解し連携を図り、利用者支援の充実に努めます。

しりべしワークセンターセオス営業種目

- クリーニング課** クリーニング全般
- 園芸課** 花苗・野菜苗・椎茸・しめ縄・和紙・ポストカード切り絵・消しゴムハンコ
- 印刷課** 名刺・封筒・用紙類・伝票・製本・挨拶状・大判プリント・パンフレット・各種案内状・年賀状 など

編集：(社福)黒松内つくし園 / しりべし学園・しりべし学園成人寮広報委員会
TEL.0136-72-3173 (児童棟)・0136-77-2950 (成人寮)・FAX.0136-72-3952
北海道寿都郡黒松内町字黒松内565番地2 ホームページ <https://tsukushien.or.jp/>

障がい者支援施設 しりべし学園成人寮

科目	予算額	科目	予算額
就労支援事業収入	17,760	人件費	193,844
障がい福祉サービス事業収入	354,946	事業費	82,784
経常経費寄附金収入	440	事務費	45,445
受取利息配当金収入	1,298	就労支援事業支出	15,148
その他の収入	2,394	支払利息支出	
施設整備等補助金収入		その他の支出	1,180
積立資産取崩収入	1,000	設備資金借入金元金償還支出	670
拠点区分間繰入金収入		固定資産取得支出	0
		ファイナンスリース債務返済	2,383
		積立資産支出	4,192
		拠点区分間繰入金支出	26,800
		その他の活動による支出	
収入合計(1)	377,838	支出合計(2)	372,446

今年度の事業所共通スローガン「同心協力～ともに歩こう笑顔の道を～」を踏まえ、利用者の意思決定の支援・権利擁護の遵守など、虐待の根絶に重点を置き、しりべし学園成人寮、しりべしワークセンターセオス、いずみホーム、しりべし学園、南後志児童デイサービスセンターが協力しながら、虐待防止改善計画を確実に実行し、研修や巡回を行いながら不適切な支援・虐待「0」に向けて一層力を入れて取り組み、利用者の幸せ実現と職員のモチベーションアップに向けて様々な活動や事業を活性化させます。しりべしワークセンターセオス作業内容の細分化、分業化を進め、利用者の状況に応じた作業の提供を図り、利用者の体力、モチベーションの維持に努め、商品の質の向上や製品のPR等から新規顧客の開拓に繋げるとともに、新商品開発などにも力を入れ、利用者の「やりがい」向上に取り組めます。高齢障がい者が暮らしやすいグループホーム環境の整備を進めるとともに、他の福祉サービスの利用等、利用者の意向に沿った次のステップや今後のグループホームの在り方等、継続的に協議します。

- ① 利用者の意思決定の支援・権利擁護の遵守など不適切な支援、虐待0に向けて意識改革を行います
- ② 各種研修会に参加し、職員の知識・技術の向上を行い、利用者支援に還元していきます
- ③ 意識統一を図り、全体で情報共有した内容を内外部や家族へ発信して閉鎖的にならないように配慮します

就労継続支援B型事業 しりべしワークセンターセオス

- ① 関係機関と情報共有をしながら、個々に合わせた高齢化対策を検討し、適切な利用継続に繋がります
- ② 各事業の円滑な運営と顧客満足度の向上に取り組む、工賃向上を目指します
- ③ 若手利用者の育成と同時に、実習などの受け入れから新規利用者の獲得を目指します
- ④ 基本的な感染症予防の他、けが防止の為、作業場の環境整備、支援方法の検討を行います

共同生活援助 いずみホーム

- ① 体調管理を行い、基本的な感染症予防を行うことで、健康に留意します
- ② 利用者の高齢化、特性を加味し、暮らしやすいGHを目指して、必要な環境整備を行います
- ③ 利用者の意向等に沿って必要な福祉サービスの検討を行い、次のステップに向けて関係機関と連携、協議します
- ④ 利用者の特性、感染症予防、地域とのつながりを考慮したうえで、自治会活動の充実を目指します

特定相談支援事業 黒松内つくし園特定相談支援事業所

- ① モニタリングとサービス等利用計画書作成のためのアセスメントを実施し、適切な計画書の作成に努めます。
- ② 職員の質の向上を目指し、各種の研修会等に出席します。

構成・印刷：(社福)黒松内つくし園 / しりべしワークセンターセオス 印刷課
TEL・FAX.0136-72-3820(印刷課)